

テーマ “儲かる経営体質” のヒントがここにある！

日時 2016年2月26日（金）13時開場～18時

場所 沖縄産業支援センター（沖縄県那覇市）中ホール

主催 ITコーディネータ沖縄、沖縄県中小企業家同友会情報関連部会「eおきなわ」、ITC ビジョン琉球

共催 ITコーディネータ協会（ITCA）、沖縄県中小企業家同友会女性部会「碧の会」
後援 （21団体）

内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、那覇市、浦添市、沖縄県工業連合会、沖縄県産業振興公社、沖縄県中小企業診断士協会、中小機構沖縄事務所、沖縄県中小企業団体中央会、沖縄県商工会連合会、那覇商工会議所、浦添商工会議所、沖縄商工会議所、沖縄県専修学校各種学校協会、沖縄銀行、沖縄海邦銀行、コザ信用金庫、琉球新報社、沖縄タイムス社、沖縄県情報産業協会、フロム沖縄推進機構

参加者 123名



1. 主催者挨拶

ITコーディネータ沖縄代表理事 新井良直

ITコーディネータ沖縄の主な活動は、沖縄県内中小企業のIT経営を支援と県内のITコーディネータを育成することである。

ネータを育成することである。

IT経営カンファレンスは、全国で約20回開催されたが、沖縄は2回開催とITC協会からの支援が大きい。また、今回は著名な5名の講演者をお招きできたこと、さらに満席近い参席者への感謝を述べた。



尚、司会の大城桂子様（元ネーネーズ）は、ITコーディネータ沖縄会員の奥様です。

2. 「沖縄の IT 産業の現状と課題」



講師 内閣府沖縄総合事務局経済産業部地域経済課
課長 平良浩二様



内閣府沖縄総合事務局の地域経済課平良課長からは、「沖縄の IT 産業の現状と課題 アジアゲートウェイを目指して」というテーマで、

- ・我が国の IT 戦略
- ・経済産業省の主な IT 関連予算案
- ・経済産業部における IT 産業振興への取組

について説明された。

経済産業省の主な政策は、ビッグデータにおける人材育成、IoT (Internet of Things) の新産業モデル創出、サイバーセキュリティ対策の推進などがある。沖縄県内では、特に、ビッグデータ活用、セキュリティ対策を推進していく予定である。

沖縄振興計画の IT 産業の推移は拡大しているが、人材定着率・開発下請けなどの課題対応が必要である。沖縄成長産業戦略としてはアジアゲートウェイを発展させるため、ビッグデータとものづくり産業のアジア展開を推進する。また、沖縄中小企業の IT 活用事例としては「IT 経営賞」受賞者の県内 4 社を紹介され、来場者である県内中小企業経営者が IT を利活用されることを期待されていた。

3. 「稼ぐ力を強化する攻めの IT 経営」



講師 IT コーディネータ協会会長
播磨崇様

IT コーディネータ協会の播磨会長は、「稼ぐ力を強化する攻めの IT 経営」というテーマで、

- ・ IT コーディネータの紹介
- ・ IT の新潮流
- ・ 経済産業省の平成 28 年度予算
- ・ 攻めの IT 経営事例

を実例を交えて、具体的に説明されました。

IT コーディネータ協会は、全国約 1 万人もの IT コーディネータ資格者が活動するために、国と連携して IT 施策支援を実施していることを説明された。

IT の新潮流では、スマートフォンと SNS の拡大は新聞広告・ラジオ広告を超える広告媒体になっていること、3D プリンターの利用拡大は先端医療、先端ものづくりの産業界を大きく変えている事例を紹介された。また、IoT (Internet of Things) やインダストリー 4.0 の社会では、IT の進展が新製品・新サービス、新ビジネスを創出するプラス面も多くあるが、一方で、人間の仕事が大きく変わり、ロボットや AI (人工知能) が仕事を代替し、雇用が失われる大きな社会問題になるマイナス面があることも語られた。



経済産業省の予算では、サービス・ものづくり高度生産性向上支援事業、小売流通の合理化（消費税軽減税率）支援策などの強化があり、IT コーディネータ協会及び IT コーディネータが主体的に各事業を支援していることを紹介された。

攻めの IT 経営の 3 社の事例を紹介された。石川県中山温泉の老舗旅館（お花見久衛様）の攻めの IT 経営に変革をされた事例、福井県鯖江めがねの西村金属様

の企業間連携・地域活性化によるグローバル展開の事例、更に大分県お菓子のありの子様のお客様目線の情報発信・商品開発による事業拡大の事例。
参加者である県内中小企業経営者へ IT 経営による事業拡大のヒントとして説明されていた。

4. IT 経営の近未来像と展望 沖縄の中小企業者への伝言



講師 日本マイクロソフト株式会社業務執行役員・エバンジェリスト
西脇資哲様

マイクロソフトエバンジェリストの西脇様は、ご自身が複数の専門職者になった経緯を、エバンジェリストの仕事、プレゼンテーション講師と本の執筆家、またドローン普及活動家の仕事内容をデモを踏まえて説明された。これらの仕事が更なる仕事を複合的に生むことを解説し、高齢化社会日本での生産を上げる働き方のヒントを語られた。

■儲けのヒントは「ITを使って早く、マルチに仕事をする！」

儲けるための生産性を上げる働き方は、早く仕事をする或いは多く仕事をする事、「いつでも・どこでも・どのようなデバイス（PC・スマホ・タブレット）でも」仕事をする事である。現在のクラウド用ソフトウェアを用いることにより、また遠隔地との共同作業が容易になり、大幅に仕事の生産性が向上することをデモで実演された。

IoT (Internet of Things) 時代における新しい「儲けるビジネス」事例として、スペインバルセロナ市の街灯保守会社の環境データサービス、米国ニューヨーク市の騒音データ

活用サービス、中国の大気汚染データの生活支援サービスなどのヒントを紹介した。ビックデータを用いることにより新しい付加価値サービスの可能性を説明された。



5. 基調講演 2 「どじょうすくい女将の情報発信力」



講師 島根県安来市

さぎの湯温泉旅館「竹葉」女将

「日本の宿若女将 48」 超人気ブロガー

小幡美香様

島根県から初めての沖縄に来ていただいたどじょうすくい女将・小畑美香様からは、小さなお店で SNS を使った IT の活用法を伝授いただきました。また、多くの女性参加者を集客して頂きました。小さな旅館の女将は集客・PR のためにお金の掛からない SNS からスタートし、お店のため、地域のため、更に島根県のためと他人のために

行っていたことが徐々に拡大して、現在は、TV 出演から、観光大使的役割を担うまでになった。人は明るいところに寄って来る、お客様とのご縁結び、地域とのご縁結びという他人のためになることが廻りまわっ



て自らの周りに人が寄ってくる。小幡流の人間関係学を易しく、しかも苦勞話も明るく語られていました。



初めての沖縄を大変気に入られて、島根と沖縄は空では繋がっているが、今年は、島根からの沖縄観光客を増やしたいと早速沖縄観光にも一役を買うということも言われ、参加者全員にどじょう掬いのイントロを伝授され、拍手喝采を浴びて、講演は終了しました。

6. 「ノンプログラミングで作る業務システム」

“現場 “と” 経営 “の” 欲しい “を自らつくれる！！

サイボーズ kintone 紹介&実演



講師 株式会社レキサス 事業推進部マネージャー
エバンジェリスト常盤木龍治様

株式会社レキサスの会社設立の経緯と、現在の業務の殆どが県外であること、また自らが沖縄移住者であり沖縄で働くことの意義を熱く語らされた。

会社の主要事例紹介では、トラック会社の車の買い替えのシミュレーションシステム、スマホ・タブレッ

ト・PC など複数デバイス対応のホームページなどを交えて今後の企業戦略を紹介された。

またコンピュータ誕生からクラウドコンピューティングに至る技術的発展の歴史を分かり易く説明され、本題の「業務システムをノンプログラミングで作る kintone」の説明にはいった。kintone 製品を自社で採用するに至った理由、また当製品を使用することにより、会社のデータが共有され、チームの業務が効率されたという自社の実績を説明された。

最後に、kintone 製品の主要機能と特徴を解説し、画面上でマウスを機能モジュールを選択し、ドラッグ&ドロップすることによりノンプログラミングで業務システムが作成できることを分かり易く実演・解説された。

7. 閉会あいさつ

沖縄県中小企業家同友会 情報関連部会「eおきなわ」 部長 高橋庸正様

講演の最後に、主催者である沖縄県中小企業家同友会高橋様から、講演者への謝辞と参加者への感謝の意を述べ、幕を閉じた。

文書作成：ITコーディネータ沖縄理事 中久喜唯男

記念撮影!(^^)!



(左から小幡様、西脇様、常盤木様)



(西脇様は、すでに大阪にフライトで、この場にはいらっしゃいません。)